

死角から横断の高齢女性、はねられ死亡

路肩に止まっていた路線バスを、追い抜いた直後、前方から横断
日没後で見通しが悪くなっていた

2016/01/18

13日午後6時20分ごろ、香川県で、徒歩で道路を横断していた85歳の女性に対し、交差進行してきた軽トラックが衝突する事故が起きた。この事故で女性は死亡。クルマを運転していた37歳の男性を自動車運転死傷行為処罰法違反(過失致死)容疑で事情を聞いている。事故が起きた時間は日没後で見通しが悪くなっていた。男性が運転するクルマは路肩に止まっていた路線バスを追い抜いた直後、その前方を横断していた女性に衝突したものとみられており、警察では安全確認に怠りがあったものとみている。

積雪 スリップで単独事故の車に大型トラック2台が追突

追突された車の42歳男性が、意識不明の重体

◆前方で何が起こるかわかりません・・・、「車間距離」を十分に！◆

(2016/01/18 13:24)

18日午前1時40分ごろ、福島県の東北道で、スリップによる単独事故で停車したとみられる乗用車に大型トラック2台が追突した。この事故で、乗用車を運転していた会社員の男性(42)が病院に運ばれたが、意識不明の重体となっている。現場は左カーブに差し掛かるころ。

交差点 右折レーンを直進！

交差点 対向車線で右折待ちの車4台に次々衝突
車5台の衝突事故 2人が意識不明の重体

2016年1月18日(月)14時58分

18日午前、福岡県の国道交差点で、男女2人が乗った車が、対向車線で右折待ちしていた無職女性(44)の軽自動車、会社員(45)の軽自動車に接触し、さらに、パート従業員女性(44)の乗用車、男性が運転する軽トラックに次々と衝突した。この事故で、次々に衝突事故を起こした車に乗っていたうちの1人と、軽トラックの男性が意識不明。ほかに2人が軽傷を負った。

大型トラック、車線変更、後ろから来た車両と接触

死亡ひき逃げ容疑でトラック運転手逮捕

「事故起こしたと気付かず？」

◆車線変更時は、後方の安全確認◆

2016年1月15日(金)10時55分

大型トラックでバイクの男性をひき逃げして死亡させたとして、大阪府警は15日、自動車運転処罰法違反(過失致死)と道交法違反(ひき逃げ)の疑いで、トラック運転手の男性容疑者(40)を逮捕した。「事故を起こしたことに気付かなかった」と容疑を否認しているという。逮捕容疑は14日午後5時40分ごろ、大阪市の市道で大型トラックを運転中、近くに住む会社員の男性(30)のバイクをはねて死亡させ、そのまま逃げたとしている。警察によると、容疑者が右折レーンに車線変更した際、後ろから来たバイクと接触したとみられる。付近の防犯カメラの映像から容疑者の関与が浮上した。

「ヒヤリ」は、事故の「予兆！」
「安全確認」で、危険な「まさか・・・」を根絶！

”スピードダウン”で安全運転

バック時は 降りて確認 乗っても確認

事故の要因は、運転者の
気抜き・手抜き・ぼんやり・わがまま・・・にある

バス事故運行会社 国土交通省の特別監査

◆判明した法令違反の疑い事例◆

2016/01/18

- ・国の基準よりも低い料金でバス運行を受注した契約が今回の事故以外に3件あった
- ・複数の運転手の勤務記録から過労運転を確認
- ・運転手の免許の種類や健康状態を個別に記した乗務員台帳に未作成や記載不備があった
- ・事業用車両に義務付けられた年4回の定期点検整備が適切に行われていない可能性がある
- ・旅行会社との契約時に、バスの行程や受注額を記す書類に、記載不備のほか未作成の可能性がある
- ・運転手が運行管理者に常時連絡をとれる体制を作らず

中小バス会社を一斉監査へ 国交省、月内にも

2016/01/19 02:31

国土交通省は18日、長野県軽井沢町のバス転落事故を受け、中小の貸し切りバス事業者を対象に、安全運行の管理体制について、月内にも一斉監査に着手する方針を固めた。今回の事故を起こした会社のようなずさんな実態が他社に広がっていないかを調べ、道路運送法違反があれば行政処分する。観光庁も旅行業法に基づき「格安バスツアー」などを企画する旅行会社に対し、近く集中的な立ち入り検査を実施する。